

日本地質学会第128年学術大会 (2021 名古屋大会) 講演プログラム (口頭)

■ 9月4日 (土) 午前

会場		第1会場 (Ch.1)		第2会場 (Ch.2)		第3会場 (Ch.3)	
		T1. 広域観測・微視的実験連携による沈み込み帯地震研究の新展開		R9. 堆積		R12. 岩石・鉱物の変形と反応	
座長: 木下正高		座長: 松本 弾		座長: 大橋聖和・岡本 敦・向吉秀樹・岡崎啓史			
8:00	T1-O-1 日向灘沖での九州パラオ海嶺沈み込みが熱構造に及ぼす影響。 *木下正高・仲理理映・橋本善孝・濱田洋平・IODP日向灘掘削提案者一同	T1-O-2 高知県四万十帯興津メランジウムで発見された沈み込みプレート境界断層。 *向江知也・坂口有人	T1-O-3 東北沖地震の稠密余効変動観測と岩石の非線形レオロジーから知る東北日本の3次元レオロジー不均質。 *武藤 潤・DharSambuddha・MooreJames・太田雄策・飯沼卓史・三浦 哲	R9-O-1 北西太平洋で採取された深海底堆積物の古地磁気学・堆積学的研究とその意義について。 *鈴川真季・川村喜一郎・中村恭之・藤江 剛	R9-O-2 (招待講演) メコンデルタ海岸の堆積・侵食作用への人間活動の影響。 *田村 亨	R12-O-1 (招待講演) 炭質物ラマン温度計の適用性と可能性。 *瀧崎佑衣	R12-O-2 北海道東部の前弧含石炭古第三系褶曲帯中の変形バンドの発達に至る中。 *加地広美・竹下 徹
	T3. スロー地震に関する地質学的・実験的・地震学的研究の連携と進展			R11-O-1 北海道南部沖日高トラフの第四系最上部に認められる静内海底地すべり堆積体の形状および内部構造の特徴。 *荒戸裕之・山本由弦・山田泰広・千代延 俊・白石和也	R11-O-2 (招待講演) 安定同位体およびクランプト同位体を用いた天然ガス評価法の最近の進展。 *早稲田 周	R12-O-3 亀裂の連結性評価と亀裂の連結性が岩石物性に与える影響について。 *高橋美紀・岩崎夏波・一松駿斗・北村真奈美・上原真一・渡邊 了	R12-O-4 ネパールTsergo Ri地すべりに伴うシュードタキライトに発達した気泡の三次元形態とメルトの流動パターン。 *岩森暁如・牧田陽行・朝日信孝・野原慎太郎・高木秀雄
	座長: 氏家恒太郎・平内健一			R11-O-3 東京都大田区および神奈川県横浜市に掘削された温泉井の最上部新生界石炭質ナノ化石層序。 *千代延 俊・佐久山直起	R10. 炭酸塩岩の起源と地球環境	R12-O-5 (招待講演) 超高压シュードタキライト。 *西山忠男	R12-O-6 体積膨張反応によるリソスフェアの破壊と流体移動の自己加速化: MgO-H ₂ O実験系からの制約。 *宇野正起・岡本 敦・土屋苑 芳
09:15	T3-O-1 (招待講演) スロー地震の活動様式とその地質学的背景。 *小原一成			R10-O-1 (招待講演) 初期太古代の炭酸塩岩: その起源と炭酸塩岩から読む地球環境。 *小宮 剛	R10-O-2 北中国の後期カンブリア紀芙蓉世に見られる微生物岩の時代特异性カンブリア紀からオルドビス紀生物相への変遷を知るための鍵。 *江崎洋一・足立奈津子・劉 建波	R12-O-7 浅部ウェッジマントルのアンチゴライトの変形メカニズムとカップリング深度。 *永治方敏・ウォリス サイモン	R12-O-8 スラブマントル条件下におけるアンチゴライト蛇紋岩の変形促進脱氷反応。 *奥出敏子・清水以知子・緒方夢頭
09:45	T3-O-2 南海トラフ・プレートの境界先端に広がるバッチ状の高間隙水圧帯: 室戸沖スロー地震の発生源? *廣瀬丈洋・濱田洋平・谷川 巨・神谷奈々・山本由弦・辻 健・木下正高			R10-O-3 南大東島大東層ドロマイトの異なる結成史に伴う岩石組織の相違。 *松田博貴・大塚陸也	R10-O-4 石筍酸素同位体の解釈: 日本のケース。 *狩野彰宏		
10:00	T3-O-3 紀伊半島沖南海トラフ浅部デコルマ地形に応じた応力・物性分布と浅部超低周波地震との空間的關係。 *橋本善孝・佐藤茂行・口元晴貴・木村 学・木下正高・宮川恭夢・ムーア グレゴリー・中野 優・白石和也・山田泰広			R10-O-5 トラバーチン形成を制御する非生物的・生物的過程: 日本の8つの温泉からの洞察。 *白石史人・半澤勇作・中村有希・江野友樹・森川朝世・deMattos Rafael・朝田二郎・Cury Leonardo・Bahniuk Aneize			
10:15	T3-O-4 南海トラフ掘削試料の摩擦特性プロファイルから推察する浅部スロー地震の発生プロセス。 *片山郁夫・藤岡里帆・北村真奈美・奥田花也・廣瀬丈洋						
10:30 (休憩)							
10:45	T3-O-5 石英物質中の断層の弱挙動。 *堤 昭人・尾上裕子・三宅 亮						
11:00	T3-O-6 剪断応力制御実験による高速すべりへの自発的移行。 *高橋美紀						
11:15	T3-O-7 低速から高速すべり速度の大変位を伴う摩擦すべりによって誘発される水透過率の変動: 湿潤と乾燥条件における比較。 *谷川 巨						
11:30	T3-O-8 沈み込み帯の断層挙動の多様性をもたらす地質学的要因。 *山口 飛鳥・大熊祐一・奥田花也・山本一平・福地里菜						

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※太字氏名: 代表発表者 (招待); 招待講演 (エントリ); 優秀ポスター賞エントリ (講演)

日本地質学会第128年学術大会 (2021 名古屋大会) 講演プログラム (口頭)

■ 9月4日 (土) 午前

第4会場 (Ch.4)		第5会場 (Ch.5)	
T4.二次改変された過去の弧・海溝系の復元：日本およびその他の例		R18. 環境地質	
座長：磯崎行雄・青木一勝		座長：田村嘉之	
8:00	T4-O-1 甲府花崗岩中のジルコン微量元素組成：堆積物混入指標の確立。*澤木佑介・坂田周平・大野 剛	08:45	R18-O-1 鹿児島県内に湧出する地下水・温泉水中のラドン濃度と地質の関係。*川端訓代・渡部真衣・北村有迅・中野亮典・富安卓滋
08:15	T4-O-2 大分県周辺の白亜紀花崗岩類のジルコンU-Pb年代。*堤 之恭・谷健一郎	09:00	R18-O-2 広域地下水モデルのパラメータ逆解析－茂原市の汚染現場を例にして。*藤崎克博
08:30	T4-O-3 Boron isotope mapping of serpentinites in the Osayama Serpentinite Mélange, SW Japan. *辻森 樹・山田千夏・青木翔吾・青木一勝・常 青・木村純一	09:15	R18-O-3 2019年台風第15号・第19号の影響による地下水位変動。*香川 淳
08:45	T4-O-4 (招待講演) 砕屑性ジルコンと年代学のレビュー：地球史における地質構造発達および大陸成長の視点から。*沢田 輝	09:30	R18-O-4 八街市・富里市周辺に見られる地盤沈下の時系列変化。*荻津 達・八武崎寿史・吉田 剛
09:30	T4-O-5 オホーツク海南縁の白亜紀島弧－海溝系の地質：常呂帯仁頃層群付加体(北海道)の砕屑物組成からの制約。*植田勇人・奈良幸明・阿久津優太	09:45	R18-O-5 20年経過したCVOC地下水汚染サイトのモニタリング効果と単元調査法の重要性。*高嶋 洋・竹内真司・風岡 修
09:45	T4-O-6 始新世日本に起きた2回の地殻改変イベント：古第三系砂岩の後背地年代解析からの予察。*磯崎行雄・中野智仁・長谷川 遼・Godot Juliana・堤 之恭・可見智美	10:00	R18-O-6 堤体と隣接した道路の大変形の主原因について：東京湾岸理立地北部での2011年東北地方太平洋沖地震時に液状化・流動化した部分の地質調査から。*風岡 修・小島隆宏・伊藤直人・荻津 達・香川 淳・吉田 剛
10:00	T4-O-7 (招待講演) 徳之島の地質構造とジルコンU-Pb-He同位体比が呈示する琉球弧と南中国の関連性。*山本啓司・岡本和明・上田脩郎・寺林 優	R23. 原子力と地質科学	
座長：天野一男・高木秀雄		座長：安江健一・竹内真司	
10:45	R6-O-1 三陸地域の津波被災遺構一解体と保存の10年。*高木秀雄	10:30	R23-O-1 福島県南相馬市周辺の水理・物質移行挙動の検討。*竹内真司・張 豊瑞・鈴木弘明
11:00	R6-O-2 コロナ禍のジオツーリズム～フィールドの強み：山陰海岸ジオパークの例～。*松原典孝・長瀬 聖・河本大地	10:45	R23-O-2 津波は引き波も怖い：JAEA東海再処理施設の津波対策の改善。*石渡 明
11:15	R6-O-3 地域の地質資源としての視点から見る玄武洞溶岩。*川村教一	11:00	R23-O-3 炭酸塩コンクリーションのカルサイトシーリングによる水理・力学的特性について。*中村祥子・竹内真司・吉田英一
11:30	R6-O-4 ビッグヒストリー概念のジオパークへの適用。*天野一男	11:15	R23-O-4 (招待講演) NUMO包括的技術報告書レビューに見る異分野間の知識の統合化に向けた課題。*若杉圭一郎

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※太字氏名：代表発表者。(招待)：招待講演。(エントリ)：優秀ポスター賞エントリ

日本地質学会第128年学術大会 (2021 名古屋大会) 講演プログラム (口頭)

■ 9月4日(土) 午後

会場		第1会場 (Ch.1)		第2会場 (Ch.2)		第3会場 (Ch.3)	
		T3. スロー地震に関する地質学的・実験的・地震学的研究の連携と進展		T2. 続・海底地盤変動学のススム		R2. 岩石・鉱物・鉱床学一般	
座長：ウオリスサイモン・岡崎啓史		座長：川村喜一郎				座長：沢田 輝・吉田健太	
13:00	T3-O-9 (招待講演) 日本海溝海底地震津波観測網S-netが明らかにした日本海溝の スロー地震分布。*西川友章・松澤孝紀・太田和晃・内田直希・西 村早也・井出 哲	T2-O-1 (招待講演) 沿岸重要施設における海底地すべり津波に関するリスク評価に ついて。*松山昌史	T2-O-2 砂質土石流のFlow transformation：二層浅水モデルに基づく混 濁流生成メカニズムの検討。*酒井佑一・成瀬 元	R2-O-1 古熱水系を示唆するゼブラロックの形成プロセス。*河原弘和・ 吉田英一・山本綱志・勝田長貴・西本昌司・梅村綾子・隈 隆 成	R2-O-2 谷川岳石英閃輝岩体のジルコンU-Pb年代：新たな標準試料とし てのポテンシャル。*山田来樹・仁木創太・植田勇人・平田岳史	R2-O-3 教師なし学習を用いた珪長質火成岩微量元素組成データのソフ トクラスタリング。*油谷 拓・桑谷 立・吉田健太・上木賢 太・中尾篤史・鳥海光弘・平野直人	R2-O-4 飛驒帯に産する変成炭酸塩岩の岩石学・同位体地球化学：ドロ マイト質大理石の可能性。*原田浩伸・辻森 樹
13:30	T3-O-10 スロー地震の地質学的痕跡。*氏家恒太郎・西山直毅・フランク マディソン・山下 穂・森 康・最首花恵・重松紀生・永治方 敏	T2-O-3 (招待講演) 海底地すべり地形調査と非静水圧二層流モデルによる津波計 算。*馬場俊孝	R19-O-1 2020年熊本県南部豪雨災害による岩盤崩壊について。 *山崎新太郎・荒井紀之・西山賢一・丸谷靖幸・矢野真一郎	R19-O-2 1946年昭和南海地震で発生した和歌山県田辺市本宮町の岩盤崩 壊。*西山賢一・後 誠介	R19-O-3 崩壊形態を規制する断層構造。*吉村辰朗	R19-O-4 東京湾沿岸地域における沖積層の層序とS波速度不連続面の深度： 沖積層のどこまでが「軟弱」か？*小松原純子・長 郁夫・坂田 健太郎・中澤 努	R19-O-5 東京都区部の3次元地質地盤図に基づく地盤の類型化と地盤震 動特性。*中澤 努・長 郁夫・小松原純子・納谷友規・野々垣 進・宮地良典・尾崎正紀・坂田健太郎・中里裕臣・鈴木毅彦・ 中山俊雄
13:45	T3-O-11 Spatial changes in inclusion band spacing as an indicator of temporal changes in slow slip and tremor recurrence intervals。*西山直毅・氏家恒太郎・加納将行	R19-O-3 崩壊形態を規制する断層構造。*吉村辰朗	R19-O-4 東京湾沿岸地域における沖積層の層序とS波速度不連続面の深度： 沖積層のどこまでが「軟弱」か？*小松原純子・長 郁夫・坂田 健太郎・中澤 努	R19-O-5 東京都区部の3次元地質地盤図に基づく地盤の類型化と地盤震 動特性。*中澤 努・長 郁夫・小松原純子・納谷友規・野々垣 進・宮地良典・尾崎正紀・坂田健太郎・中里裕臣・鈴木毅彦・ 中山俊雄	R4-O-1 山口県南部、瀬戸内海に産する変成岩類の累進変成作用と帰 風。*JIN LUZE・大和田正明	R4-O-2 (招待講演) ベトロクロノロジーを用いた領家帯三河地域の深成-変成-変形履 歴解読。*河上哲生・市野智榮・葛立恵一・坂田周平・高塚紘太 R4-O-3 15:15 地盤波速度温度計による東北本州弧地殻の温度構造：高精度な 熱構造の解明に向けて。*石川正弘	R4-O-4 15:30 高圧型変成岩中のざくろ石の反応動力学と粒径依存成長。*宮崎 一博
14:00	T3-O-12 メランジュ面構造に平行な伸長石英脈から見積もられたスロー 地震発生サイクル内の間隙流体圧の時間変化。*大坪 誠・氏家 恒太郎・最首花恵・宮川歩夢	R19-O-3 崩壊形態を規制する断層構造。*吉村辰朗	R19-O-4 東京湾沿岸地域における沖積層の層序とS波速度不連続面の深度： 沖積層のどこまでが「軟弱」か？*小松原純子・長 郁夫・坂田 健太郎・中澤 努	R19-O-5 東京都区部の3次元地質地盤図に基づく地盤の類型化と地盤震 動特性。*中澤 努・長 郁夫・小松原純子・納谷友規・野々垣 進・宮地良典・尾崎正紀・坂田健太郎・中里裕臣・鈴木毅彦・ 中山俊雄	R4-O-5 15:45 変成作用における金平糖様鉱物の成長と流体移動速度。 *鳥海光 弘		
14:15	T3-O-13 沈み込み境界プロセスを議論するためにどの蛇紋岩体が適切な のか？：西南日本、三波川帯の例。*ウオリス サイモン・青矢 睦月	R19-O-3 崩壊形態を規制する断層構造。*吉村辰朗	R19-O-4 東京湾沿岸地域における沖積層の層序とS波速度不連続面の深度： 沖積層のどこまでが「軟弱」か？*小松原純子・長 郁夫・坂田 健太郎・中澤 努	R19-O-5 東京都区部の3次元地質地盤図に基づく地盤の類型化と地盤震 動特性。*中澤 努・長 郁夫・小松原純子・納谷友規・野々垣 進・宮地良典・尾崎正紀・坂田健太郎・中里裕臣・鈴木毅彦・ 中山俊雄			
14:30	T3-O-14 変成岩の体積変化に基づく沈み込み境界におけるシリカ移動の 定量化。*副島祥吾・ウオリス サイモン	R19-O-3 崩壊形態を規制する断層構造。*吉村辰朗	R19-O-4 東京湾沿岸地域における沖積層の層序とS波速度不連続面の深度： 沖積層のどこまでが「軟弱」か？*小松原純子・長 郁夫・坂田 健太郎・中澤 努	R19-O-5 東京都区部の3次元地質地盤図に基づく地盤の類型化と地盤震 動特性。*中澤 努・長 郁夫・小松原純子・納谷友規・野々垣 進・宮地良典・尾崎正紀・坂田健太郎・中里裕臣・鈴木毅彦・ 中山俊雄			
14:45	T3-O-15 蛇紋岩の滑石化交代作用に関連したスロースリップ。*森 康・ 氏家恒太郎・西山忠男・重野未来・野呂和也	R19-O-3 崩壊形態を規制する断層構造。*吉村辰朗	R19-O-4 東京湾沿岸地域における沖積層の層序とS波速度不連続面の深度： 沖積層のどこまでが「軟弱」か？*小松原純子・長 郁夫・坂田 健太郎・中澤 努	R19-O-5 東京都区部の3次元地質地盤図に基づく地盤の類型化と地盤震 動特性。*中澤 努・長 郁夫・小松原純子・納谷友規・野々垣 進・宮地良典・尾崎正紀・坂田健太郎・中里裕臣・鈴木毅彦・ 中山俊雄			
15:15	T3-O-16 高間隙流体圧下での古マンテルウエッジ蛇紋岩体の破壊作用と 深部スロー地震発生サイクルとの関連性。*平内健一・永田有里 奈・大柳良介・岡本 敦・道林克禎	R19-O-3 崩壊形態を規制する断層構造。*吉村辰朗	R19-O-4 東京湾沿岸地域における沖積層の層序とS波速度不連続面の深度： 沖積層のどこまでが「軟弱」か？*小松原純子・長 郁夫・坂田 健太郎・中澤 努	R19-O-5 東京都区部の3次元地質地盤図に基づく地盤の類型化と地盤震 動特性。*中澤 努・長 郁夫・小松原純子・納谷友規・野々垣 進・宮地良典・尾崎正紀・坂田健太郎・中里裕臣・鈴木毅彦・ 中山俊雄			

※講演番号は、シンポジウム(S)、トピックセッション(T)、レギュラーセッション(R)のそれぞれに、ポスター(P) / 口頭(O)の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※太字氏名：代表発表者。(招待)：招待講演。(エントリ)：優秀ポスター賞エントリ

■ 9月4日(土)午後

会場	
第4会場(Ch.4)	
R5. 地域地質・地域層序・年代層序	
座長: 佐藤大介・納谷友規	
13:00	R5-O-1 東イソンド・プラマプトラ川上流部における川砂の重鉱物構成。 *吉田孝紀・Kumar Subhadeep・Rai Kumar Lalit・吐合智之 13:15 R5-O-2 北部北上帯北東部大島ユニットの岩相・地質構造・付加年代。 *武藤 俊・伊藤 剛 13:30 R5-O-3 東京都区部武蔵野台地地下の穀層基底面にみられる段差状分布の成因。 *納谷友規・中澤 努・野々垣進・坂田健太郎・中里裕臣・中山俊雄 13:45 R5-O-4 長野県東部、東信地域の地質・地質構造と新たに見出された活断層について。 *渡邉和輝・大塚 勉 14:00 R5-O-5 男鹿半島北岸五里合低地の完新統と環境変遷。 *西川 治・嶋田智恵子・高島 勲
第5会場(Ch.5)	
R3. 噴火・火山発達史と噴出物	
座長: 長谷川 健	
13:00	R3-O-1 安達太良火山西麓、酸川盆地地下に埋没するラハール堆積物の層序・編年と噴火履歴復元。 *片岡香子・卜部厚志・長橋良隆 13:15 R3-O-2 大規模山体崩壊のマグマ供給系への影響—渡島大島火山海陸統合調査—。 *石塚 治・片岡香子・前野 深・片山 肇・有元史朗・高下裕章・下田 玄・針金由美子・Conway Chris・古山精純・小川真由・坂本 泉・横山由香・内山涼多・安藤進吾・亀尾 桂・宮嶋優希・久野光輝・小松亮介・三澤文慶 13:30 R3-O-3 (招待講演) 安山岩～デイサイト質火山のマグマ供給系の解明について; 岩石学的事例研究。 *伴 雅雄
T7. 地球年代学が拓く高精度火山噴火史・発達史	
座長: 及川輝樹・上澤真平	
14:15	T7-O-1 (招待講演) ジルコンのU-Pb年代測定と第四紀テフラ。 *伊藤久敏 14:45 T7-O-2 南西北海道、羊蹄火山北麓の尻別川沿いに露出する第四紀凝灰岩層のジルコンU-Pb年代。 *上澤真平・伊藤久敏・中川光弘 15:00 T7-O-3 福島県南部、二岐山火山の噴火史とマグマ供給系。 *渡部将太・長谷川健・小畑直也・豊田 新・今山武志 15:15 T7-O-4 火山噴出物の高確度年代決定; 少数年輪試料による ¹⁴ Cウイグル・マツチング—新湯焼山火山での例—。 *及川輝樹 15:30 T7-O-5 (招待講演) 古地磁気永年変化層序: 火山噴出物層序研究への貢献。 *望月伸吉・穴井千里・馬場 章・渋谷秀敏
R7. 新生代の地質事変記録	
座長: 細井 淳・羽地俊樹	
14:30	R7-O-1 烏弧会合部、天草地域の始新世～中新世テクトニクス。 *牛丸健太郎・山路 敦 14:45 R7-O-2 下部中新統一志層群の2段階沈降。 *木下英樹・山路 敦 15:00 R7-O-3 紀伊半島の瀬戸内火山岩類の活動時期について。 *新正裕尚・和田穰隆・折橋裕二 15:15 R7-O-4 中新統対州層群の特異な石灰岩の起源・形成水深と <i>Bathymodiolus</i> sp.の古生態系。 *二宮 崇・山中寿朗・下山正一・宮田雄一郎・島津 崇・谷口 翔・青木隆弘・西田民雄・高橋利宏 15:30 R7-O-5 本州北部、西津軽地域の地殻回転運動。 *星 博幸・久野元晴 15:45 R7-O-6 古琵琶湖堆積盆における排水方向の変化した時期の推定。 *里口 保文

※講演番号は、シンポジウム(S)、トピックセッション(T)、レギュラーセッション(R)、レギュラーセッション(R)のそれぞれに、ポスター(P)/口頭(O)の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※太字氏名: 代表発表者。(招待): 招待講演。(エントリ): 優秀ポスター賞エントリ。講演

日本地質学会第 128 年学術大会 (2021 名古屋大会) 講演プログラム (口頭)

■ 9 月 5 日 (日) 午前

会場	
名古屋 LOC zoom ch. (環境総合館レクチャホール)	
S1. 球状コンクリーションの科学 - 理解と応用 -	
座長: 吉田英一・長谷川 精・勝田長貴	
9:30	S1-O-1 (招待講演) 秋田県男鹿半島鶴ノ崎の巨大鯨骨コンクリーション群. *西本昌司・吉田英一・隈 隆成・渡部 晟・澤木博之 09:45 S1-O-2 (招待講演) アンモノイドを含む石灰質コンクリーションの産状. *御前明津・村宮悠介 10:00 S1-O-3 (招待講演) 玄能石コンクリーションの産状と成因. *村宮悠介・吉田英一・南 雅代・三上智之・小林寿宣・関内幸介・勝田長貴 10:15 S1-O-4 ユタ州, ゴビ砂漠, 竜串海岸に見られる球状鉄コンクリーションの産状と成因: 火星とのアナロジー. *長谷川 精・浅井沙紀・吉田英一・池原 実・奈良正和・勝田長貴・城野信一 10:30 S1-O-5 (招待講演) 鉄コンクリーションの形成モデル. *城野信一・梶浦鉄平・田村美紗樹・岡村裕之・勝田長貴・吉田英一 10:45 S1-O-6 (招待講演) Concrections: Chronicles of Diagenesis from Earth to Mars. *Marjorie Chan 11:15 (休憩) 11:30 S1-O-7 (招待講演) 炭酸塩コンクリーションの Sr 同位体比を利用した年代決定法の検討. *浅原良浩・吉田英一・南 雅代・山本鋼志・勝田長貴 11:45 S1-O-8 (招待講演) コンクリーション化プロセスの工学的応用. *丸山一平・吉田英一・山本鋼志・野口貴文 12:00 S1-O-9 コンクリーション化プロセスの理解と応用. *吉田英一・山本鋼志・丸山一平・浅原良浩・南 雅代・城野信一・長谷川 精・勝田長貴・西本昌司・村宮悠介・隈 隆成・竹内真司・松井裕哉・刈茅孝一・ストカーフ リチャード

※講演番号は, シンポジウム (S), トピックセッション (T), レギュラーセッション (R) のそれぞれに, ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています.
※太字氏名: 代表発表者, (招待): 招待講演, (エントリ): 優秀ポスター賞エントリ講演

日本地質学会第128年学術大会(2021名古屋大会)講演プログラム(口頭)

■ 9月6日(月)午前

会場		第1会場(Ch.1)		第2会場(Ch.2)		第3会場(Ch.3)	
		R13. 沈み込み帯・陸上付加体		R22. 地球史		R1. 深成岩・火山岩とマグマプロセス	
座長: 橋本善孝・中村恭之・坂口有人		座長: 元村健人・富松由希・佐久間杏樹		座長: 金丸龍夫・道林克頓・針金由美子			
8:00	R13-O-1 秋吉石灰岩周辺のペルム紀付加体の地質構造と付加モデル。* 脇田浩二 ・辻 智大・亀高正男	R22-O-1 オーストラリア周辺海盆・海台の白亜紀・古第三紀境界層の対比。* 黒田潤一郎	R1-O-1 オマーンオフィオリイトマントルダイアピル粗粒カンラン岩の微細構造解析: 海洋リソスフェアの地震異方性への示唆。* 道林克頓 ・柿畑慶季・尾上彩佳・大家翔馬・小田高輔浩	R22-O-2 美濃帯における三畳紀/ジュラ紀境界層の再検討。* 曾田勝仁 ・富松由希・山下大輔・尾上哲治・池原 実	R1-O-2 08:15 高速拡大海嶺のマグマ溜まり構造: オマーンICDP掘削コア解析と野外調査による考察。* 海野 進 ・草野有紀・石塚 治・菅代野大・田村明弘・森下知晃	R22-O-3 後期三畳紀カーニアン脱硝化イベント時におけるオースミウム同位体組成から復元された大規模火山活動。* 富松由希 ・野崎達生・佐藤峰南・高谷雄太郎・木村純一・常 青・奈良岡浩・尾上哲治	R1-O-3 08:30 北海道 渡島大島北方海域から採取されたはんれい岩捕獲岩の記載岩石学的性質。* 針金由美子 ・石塚 治・コンウエイ クリス トファー・下田 玄・前野 深・KH-航海乗船者一同
	R13-O-2 08:15 固結砂岩中における粒子溶解を伴う流体移動。* 宮原拓己 ・坂口 有人	R22-O-4 テチス海北西部における大陸風化の増加と三畳紀末大量絶滅。* 尾上哲治 ・Michalík Jozef・白水秀子・山下勝行・山下美沙・川上高平・日下宗一郎・曾田勝仁	R1-O-4 08:45 隠岐諸島に産する後期新生代火山岩類の起源マントルの地球化学的変遷。* 相澤正隆 ・新城竜一・岡村聡・平井康裕	R13-O-3 08:30 房総半島東部に分布する第四紀堆積岩の圧密異方性。* 宮崎裕博 ・神谷奈々・林 為人	R22-O-5 09:15 現世の鉄鉱層形成: 水酸化鉄・チムニーマウンズと水酸化鉄沈殿層について。* 鹿見島崇 ・後藤秀作・池原 実	R1-O-5 09:00 海山表面の摩擦条件が付加体変形過程に与える影響と天然への応用。* 大熊祐一 ・野田 篤・高下裕章・山田泰広・山口飛鳥・声寿一郎	R1-O-6 09:15 南海前弧海盆の分水嶺・紀伊半島沖隆起帯の成因と南海地震発生帯の分割。* 木村 学 ・中村恭之・白石和也・藤江 剛・辻 健・福地里菜・山口飛鳥
	R13-O-4 08:45 足摺花崗岩体周辺地域の被熱構造と熱物性。* 西沢志穂 ・大森康智・林 為人・千代延俊・山本由弦	R22-O-6 09:30 イメーシング質量分析による約27億年前の堆積岩中のバイオマーカーマッピング。* 齋藤大樹 ・山口耕生・井尻 暁・興村知世	R1-O-7 09:45 IODP沖繩トラフ南部掘削計画の紹介。* 大坪 誠 ・沖繩トラフ掘削計画提案者一同	R13-O-5 09:00 海山表面の摩擦条件が付加体変形過程に与える影響と天然への応用。* 大熊祐一 ・野田 篤・高下裕章・山田泰広・山口飛鳥・声寿一郎	R22-O-7 09:45 Life on the early Archean Earth - new insights from lenticular microfossils。* 杉谷健一郎	R1-O-8 10:00 南モンゴルペルム紀-三畳紀火山岩類と中央ネバール古原生代花崗岩類の起源とテクトニクス。* 今山武志	R1-O-9 10:45 Magma source of San-yo and Ryoke belt granites and fluid-rock interaction of siliceous veins and Ryoke metamorphic belt schists。* Hafizu REHMAN ・Hiroshi YAMAMOTO
	R13-O-6 09:15 南海前弧海盆の分水嶺・紀伊半島沖隆起帯の成因と南海地震発生帯の分割。* 木村 学 ・中村恭之・白石和也・藤江 剛・辻 健・福地里菜・山口飛鳥	R22-O-8 10:30 GIAモデルと堆積物試料分析による最終間氷期以降の東南極氷床変動史の復元。* 石輪健樹 ・菅沼悠介・興野淳一・徳田悠希・香月興太・田村 亨・板木拓也・佐々木聡史	R13-O-7 09:30 Proposal to IODP: Drilling and monitoring in Hyuga-Nada to unveil effects of ridge subduction on slow earthquakes。* 仲田理映 ・木下正高・橋本善孝・濱田洋平	R22-O-9 10:45 顕生代を通じた陸域及び海洋域における有機物埋没率の変化と大気酸素濃度との関連。* 青山和弘 ・田近英一・尾崎和海	R1-O-9 10:45 Magma source of San-yo and Ryoke belt granites and fluid-rock interaction of siliceous veins and Ryoke metamorphic belt schists。* Hafizu REHMAN ・Hiroshi YAMAMOTO	R1-O-10 11:00 鹿児島県北西部中期中新世飯高花崗岩体の岩石学的特徴とシルコンU-Pb年代。* 中林真梨萌 ・礼満ハフィース	R1-O-11 11:15 花崗岩類・苦鉄質岩類のSr同位体比初生値から見た日本列島の地殻物質形成。* 中島 隆
	R13-O-7 09:30 Proposal to IODP: Drilling and monitoring in Hyuga-Nada to unveil effects of ridge subduction on slow earthquakes。* 仲田理映 ・木下正高・橋本善孝・濱田洋平	R22-O-10 11:00 地層から読み解く地球と火星の表層環境の歴史。* 長谷川 精	R16. ジュラ系+	R1-O-12 11:30 西南日本弧北陸地域に分布する前期~中期中新世火山岩類の岩石学的・地球化学的研究。* 渡邊 駿 ・高橋俊郎・下田 玄・後藤孝介	R16-O-1 11:30 太平洋一環太平洋地域における遠洋域、浅海域、陸域のジュラ・白亜系境界の広域対比と国際深海掘削計画。* 松岡 篤 ・黒田潤一郎・田中えりか・安川和孝		

※講演番号は、シンボジウム(S)、トピックセッション(T)、レギュラーステーション(R)のそれぞれに、ポスター(P)/口頭(O)の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※太字氏名: 代表発表者。(招待): 招待講演。(エントリ): 優秀ポスター賞エントリ。講演

■ 9 月 6 日 (月) 午前

会場	第 4 会場 (Ch.4)
	T5. 文化地質学
	座長：川村教一・梅田真樹・鈴木寿志・大友幸子
8 : 00	
	<p>08:30 T5-O-1 (招待講演) 秋田県北部の縄文環状列石の地学. *藤本幸雄</p> <p>09:00 T5-O-2 (招待講演) 山形県最上町の材木遺跡から採集される緑色の石英について. *三澤裕之</p> <p>09:30 T5-O-3 最上町材木遺跡の緑色石英の顕微鏡観察. *大友幸子・三澤裕之</p> <p>10:00 T5-O-4 兵庫県朝来市山東町の寿賀神社にある石燈籠の豊島石との対比可能性. *川村教一</p> <p>10:15 T5-O-5 土石流がもたらしたブランド石材：御影石（六甲花崗岩）. *先山 徹</p> <p>10:30 T5-O-6 熊野酸性岩類分布域における水力発電所の立地と地質. *後 誠介</p>

R21. 第四紀地質

	座長：竹下欣宏
	<p>11:00 R21-O-1 奈良東縁断層帯調査における奈良市三条本町NB-1ボーリングコアの概要. *三田村宗樹・高橋春菜・岩田知孝</p> <p>11:15 R21-O-2 千葉県北西部における更新統下総層群上泉層下部に挟在する火山ガラスに富む火山灰と阿多島浜テフラとの対比. *吉田 剛・伊藤直人・伴 雅雄・風岡 修</p> <p>11:30 R21-O-3 福島県猪苗代湖の湖底堆積物に挟まるイベント層からみた過去1万3000年間の安達太良山の小規模噴火の頻度. *長橋良隆・片岡香子</p>

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内の通し番号を付与しています。
※太字氏名：代表発表者 (招待)；招待講演、(エントリー)；優秀ポスター賞エントリー講演

日本地質学会第128年学術大会 (2021 名古屋大会) 講演プログラム (口頭)

■ 9月6日(月)午後

会場		第1会場 (Ch.1)		第2会場 (Ch.2)		第3会場 (Ch.3)		
		R14. テクトニクス		R24. 鉱物資源と地球物質循環		R8. 海洋地質		
座長：山口飛鳥・宮川歩夢・福地里菜		座長：中村謙太郎・見部和英		座長：中村謙太郎・見部和英		座長：鈴木克明・小原泰彦		
13:00	R14-O-1 津軽半島周辺の震源断層。*佐藤比呂志・石山達也・斎藤秀雄・中田守・加藤直子・阿部進	R14-O-1 (招待講演) レーザー質量分析計が切り拓く地質学研究の新展開 -最近5年間の分析技術のブレークスルスを例に-。*平田浩史	R24-O-1 (招待講演) レーザー質量分析計が切り拓く地質学研究の新展開 -最近5年間の分析技術のブレークスルスを例に-。*平田浩史	R14-O-2 新生代の2回の回転運動を記録した西南日本の古地磁気極移動曲線。*宇野康司・井手原佑太・森田大智・古川邦之	R24-O-2 有機物に富む堆積物試料の簡便かつ迅速なRe-Os同位体分析手法の開発。*矢野萌生・大田隼一郎・野崎達生・加藤泰浩	R14-O-3 (招待講演) 長野県南部赤石山地の白亜紀-古第三紀テクトニクス。*中村佳博・宮崎一博・高橋 浩	R24-O-3 深層学習によるイクチオリス酸化石自動検出技術の検討：レアアース泥の堆積年代制約に向けて。*見部和英・三鍋秀悟・中村謙太郎・大田隼一郎・安川和孝・藤永公一郎・高尾和宏・加藤泰浩	
14:00	R14-O-4 (招待講演) 紀伊半島中部、白亜紀沈み込みメカニズムの解明に向けて。*志村侑亮・常盤哲也・竹内 誠	R14-O-4 (招待講演) 堆積物密度による遠洋性粘土中のレアアース濃集の検出とその古環境学的意義。*白井洋一・安川和孝・飯島耕一・町山栄章・市山祐司・田中えりか・藤永公一郎	R24-O-4 堆積物密度による遠洋性粘土中のレアアース濃集の検出とその古環境学的意義。*白井洋一・安川和孝・飯島耕一・町山栄章・市山祐司・田中えりか・藤永公一郎	R14-O-5 方解石双晶の三次元方向データの応力解析：精度・分解能・古深度。*山路 敦・若森 奎	R24-O-5 日本列島付加体中のレアアース泥：安芸アンバー鉱床から復元した中期白亜紀の海水Os同位体組成。*藤永公一郎・中村謙太郎・大田隼一郎・矢野萌生・桑原佑典・安川和孝・高谷雄太郎・中山 健・野崎達生・加藤泰浩	R14-O-6 方解石の機械的双晶による差応力と埋没深度の推定。*若森 奎・山路 敦	R24-O-6 南島島レアアース泥に含まれるマイクロマンガンノジュールの地球化学的特徴とレアメタル資源ポテンシャル。*安川和孝・木野悠志・浅見慶志朗・田中えりか・見部和英・大田隼一郎・藤永公一郎・中村謙太郎・加藤泰浩	
15:00	R14-O-7 山口県北東部、長門峡断層のトレンチ調査 (その1) : トレンチ壁面観察結果。相山光太郎・福地 亮・*飯田高弘	R14-O-7 南島島マンガンノジュールの核の地球化学的特徴。*中村謙太郎・寺内大貫・下村 遼・町田嗣樹・安川和孝・藤永公一郎・加藤泰浩	R24-O-7 南島島マンガンノジュールの核の地球化学的特徴。*中村謙太郎・寺内大貫・下村 遼・町田嗣樹・安川和孝・藤永公一郎・加藤泰浩	R14-O-8 山口県北東部、長門峡断層のトレンチ調査 (その2) : 断層面のSEM・STEM観察。*相山光太郎・平野公平	R24-O-8 南島島マンガンノジュールのOs同位体比に基づく高解像度年代決定。*青柳颯汰・大田隼一郎・浅見慶志朗・中村謙太郎・安川和孝・野崎達生・町田嗣樹・木村純一・加藤泰浩	R24-O-8 東北沖プラスボット火山領域を対象としたYK20-14S/YK21-07S次航海レポート。*秋澤紀克・平野直人・町田嗣樹・石川 晃・下田 玄・安川和孝・松崎賢史・田村千織・金子純二・乗船者一同	R14-O-9 無人探査機用コアリング装置により採取された定方位試料の古地磁気から推定されたフィリピン海プレートの回転運動。*山崎俊嗣・千代延俊・石塚 治・田島史郷・宇都巨貴・高川真一	R8-O-9 無人探査機用コアリング装置により採取された定方位試料の古地磁気から推定されたフィリピン海プレートの回転運動。*山崎俊嗣・千代延俊・石塚 治・田島史郷・宇都巨貴・高川真一
13:00	R8-O-1 石灰質ナノ化石群集に基づく北西太平洋海域の前期更新世表層海水温の復元。*桑野太輔・亀尾浩司・久保田好美・宇都宮正志・万徳佳菜子・岡田誠	R8-O-1 石灰質ナノ化石群集に基づく北西太平洋海域の前期更新世表層海水温の復元。*桑野太輔・亀尾浩司・久保田好美・宇都宮正志・万徳佳菜子・岡田誠	R8-O-2 日本海における中新世後期の地球寒冷化と日本海形成に伴ったシアモンストーン栄養塩循環の変化。*松崎賢史・池田昌之・多田隆治	R8-O-2 日本海における中新世後期の地球寒冷化と日本海形成に伴ったシアモンストーン栄養塩循環の変化。*松崎賢史・池田昌之・多田隆治	R8-O-3 日本海南部における66 ka以降の全有機炭素濃度・同位体比変動。*石田直人・瀬戸浩二・秋葉文雄・松本 良	R8-O-3 日本海南部における66 ka以降の全有機炭素濃度・同位体比変動。*石田直人・瀬戸浩二・秋葉文雄・松本 良	R8-O-4 沖繩島、残波岬北東沖で採取されたモモイロサンゴ遺骸の14C年代とその地質学的意義。*公文富士夫・徳山英一・奥村知也・新井政良・荒井晃作	R8-O-4 沖繩島、残波岬北東沖で採取されたモモイロサンゴ遺骸の14C年代とその地質学的意義。*公文富士夫・徳山英一・奥村知也・新井政良・荒井晃作
14:00	R8-O-5 浦ノ内湾から採取された海洋コアのイベント堆積物の形成要因は何か? *村山雅史・谷川 亘・井尻 晁・星野辰彦・廣瀬丈洋・野垣勝哉・新井和乃・近藤康生・浦本豪一郎・尾寄大真・米田 隼	R8-O-5 浦ノ内湾から採取された海洋コアのイベント堆積物の形成要因は何か? *村山雅史・谷川 亘・井尻 晁・星野辰彦・廣瀬丈洋・野垣勝哉・新井和乃・近藤康生・浦本豪一郎・尾寄大真・米田 隼	R8-O-6 東南海後退過程。*菅沼悠介・羽田裕貴・板木拓也・石輪健樹・藤井昌和・加藤悠爾・大森貴之・矢野敦子・若井雅夫・西田尚史・草原和弥・平野大輔・関幸・香月興太・川又基人・松井浩紀・奥野淳一・池原 実・三浦英樹	R8-O-6 東南海後退過程。*菅沼悠介・羽田裕貴・板木拓也・石輪健樹・藤井昌和・加藤悠爾・大森貴之・矢野敦子・若井雅夫・西田尚史・草原和弥・平野大輔・関幸・香月興太・川又基人・松井浩紀・奥野淳一・池原 実・三浦英樹	R8-O-7 堆積物の熱履歴解析による種子島沖泥火山群の噴出機構の解明。*瀬戸口亮真・井尻 晁・山形武靖・松崎浩之・萩野恭子・濱田洋平・多田井 修・谷川 亘・芦寿一郎・村山雅史	R8-O-7 堆積物の熱履歴解析による種子島沖泥火山群の噴出機構の解明。*瀬戸口亮真・井尻 晁・山形武靖・松崎浩之・萩野恭子・濱田洋平・多田井 修・谷川 亘・芦寿一郎・村山雅史	R8-O-8 東北沖プラスボット火山領域を対象としたYK20-14S/YK21-07S次航海レポート。*秋澤紀克・平野直人・町田嗣樹・石川 晃・下田 玄・安川和孝・松崎賢史・田村千織・金子純二・乗船者一同	R8-O-8 東北沖プラスボット火山領域を対象としたYK20-14S/YK21-07S次航海レポート。*秋澤紀克・平野直人・町田嗣樹・石川 晃・下田 玄・安川和孝・松崎賢史・田村千織・金子純二・乗船者一同

※講演番号は、シンポジウム (S)、トピックセッション (T)、レギュラーセッション (R)、レギュラーセッション (R)、レギュラーセッション (R) のそれぞれに、ポスター (P) / 口頭 (O) の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※太字氏名：代表発表者、(招待)：招待講演、(エントリ)：優秀ポスター賞エントリ

日本地質学会第128年学術大会(2021名古屋大会)講演プログラム(口頭)

■ 9月6日(月)午後

会場	
第4会場(Ch.4)	
R17. 情報地質とその活用	
座長：能美洋介	
13:00	R17-O-1 深層学習を用いた傾斜方位と傾斜量に基づくDEMの超解像。 *升本真二・水落啓太・野々垣進・根本達也
13:15	R17-O-2 機械学習を用いた地盤の特徴量に基づく地層対比手法の検討。 *野々垣進・升本真二・根本達也
13:30	R17-O-3 20万分の1日本シームレス地質図V2の凡例簡略化の試み。*斎藤真
13:45	R17-O-4 地質情報ARアプリ「ジオ・ビュー」の開発。*宮地良典・野々垣進・藤原治・渡辺真人
T6. 災害多発時代における学術資料・標本散逸問題 —大学・博物館は何をすべきか—	
座長：堀 利栄・小宮 剛	
14:15	T6-O-1 (招待講演) 自然史標本と自然史博物館について考えていること3つ。*大路樹生
14:45	T6-O-2 古生物標本を研究に活かすための方策。*佐々木猛智
15:00	T6-O-3 香川大学博物館の紹介と大学博物館が抱える問題点。*寺林 優
15:15	T6-O-4 学術標本散逸・共有問題と国内外の動向。*堀 利栄
15:30	T6-O-5 大型研究マスタープラン2020『地球惑星研究資料のアーカイブ化とキュレーションシステムの構築』の申請内容と次期申請に向けて。*小宮 剛

※講演番号は、シンポジウム(S)、トピックセッション(T)、レギュラーセッション(R)のそれぞれに、ポスター(P)/口頭(O)の記号と各セッション内での通し番号を付与しています。
※太字氏名：代表発表者(招待)；招待講演。(エントリー)；優秀ポスター賞エントリー講演